

# 「第7回 AIDS 文化フォーラム in 京都」出展要項

## ●開催概要

日 時：2017年9月30日（土）、10月1日（日）  
場 所：同志社大学 今出川校地 新町キャンパス  
テ ー マ：レッドリボン大作戦  
主 催：AIDS 文化フォーラム in 京都運営委員会

## ●AIDS 文化フォーラム in 京都の目的

### I. エイズ問題の啓発

- ①市民に開かれたフォーラムによって、エイズが抱える問題を社会に浸透させる。
- ②エイズ問題について、人間として必要な文化の領域からのアプローチを試みる。
- ③特に若い世代へ、エイズに関する有益となる情報を提供する。
- ④学校教育について考える機会とし、特に性教育に関してオープンとなることを期待する。

### II. 多様性を理解する

- ①性と文化、性教育、性のあり方等を考える機会とする。
- ②異なった意見や考え方を大切にする。

### III. とともに生きる

- ①エイズは日本を超え地球規模の問題であり、ともに考え問題を分かち合い、ともに生きる世界の実現に努める。
- ②HIV 陽性者の支援・交流の機会とする。
- ③人間のうちにある差別や偏見をなくし、人権を大切にするよう努める。

## ●出展内容及び遵守事項

\*市民対象のフォーラムです。気軽に参加し、理解できる内容の提示をお願いします。

- ①HIV 及び AIDS に関する視点を持った内容、エイズ問題の啓発につながる内容であれば、どなたでも参加できます。ただし、政治活動、宗教への勧誘、営利目的など、内容が「AIDS 文化フォーラム in 京都」の目的にそぐわないと判断した場合は、出展をお断りすることがあります。また、出展中においても中止を求めることがあります。
- ②講演、ワークショップ、展示など、発表の形式は自由です。
- ③発表は1コマ90分を基本とします。（部屋数が限られており、時間設定は運営委員会に一任してください。どうしてもご希望があれば、9/30、10/1の選択は可能です。）
- ④教育、若者、陽性者支援、セクシュアリティ、検査、国際、医療など多様な切り口からの発表をお待ちしています。
- ⑤発表のタイトルは、内容や対象（もし特に想定するのであれば）が、参加者にわかりやすく伝わるものとしてください。
- ⑥参加費は無料ですが、発表に係る準備、後片付けなどにかかる費用は、出展者の負担となります。
- ⑦出展に当たっては、延長や極端な短縮をせず、割り当てられた時間内に終了してください。
- ⑧出展者は、「AIDS 文化フォーラム in 京都」の広報への協力をお願いします。
- ⑨「AIDS 文化フォーラム in 京都」終了後、発表内容についての報告書を提出していただきます。（出展者からの報告をとりまとめて、「報告書」を作成します）
- ⑩発表、展示等の参加を希望される方は、「参加申込用紙」に必要事項を記入の上、AIDS 文化フォーラム in 京都事務局に提出してください。～**申し込み締め切り 7月31日**
- ⑪提出いただいた「参加申込用紙」の内容を審査の上、出展の可否を決定します。